

## 初心者を対象としたボランティア活動参加支援システムの提案

児玉 紗栄†

植竹 朋文†

専修大学 経営学部 経営学科†

専修大学 経営学部 経営学科‡

### 【1. 研究背景】

ボランティア活動に参加したいと思っても、初心者の場合、なかなか行動に移せないことが多い。そのような初心者でもボランティアをより身近に感じてもらい、役に立つ喜びややりがいを得ることが容易にできればと考えたことが本研究の動機である。

### 【2. 研究対象・研究目的】

本研究ではボランティア未経験者を対象に、ボランティアに対する不安を取り除き、ボランティア活動を支援するシステムを提案することを目的とする。

### 【3. 現状分析】

ここではまず、ボランティアに対してどんなイメージを持っているのかを明らかにするため大学生を対象にアンケート調査を行った。

表1 大学生のボランティアに対する調査 (男女 34名)

ボランティア経験者	18%
ボランティアをしてみたいか	53%
ボランティアに持っている 主なイメージ	助け合い (68%) 人のため (56%)

調査の結果 (表1)、多くの人がボランティアに対してプラスのイメージを持っており、ボランティア活動をしてみたいと思っていることがわかった。

次に、ボランティア活動をするにあたりどのような問題があるのかを把握するため、調査を行なった。

森 (2010) によると、ボランティア活動に参加する際の障壁になるものとして、以下の点であることが示されている[6]。

- 初心者は自分にどのような活動ができるかわからないため、自分に合ったボランティア活動を探すことは難しい
- ボランティアに参加するきっかけがない

また、ボランティアに参加するきっかけとして他人からの紹介が有効であることも明らかになった。

次に、上記の点を踏まえ、下記の代表的なボランティアに関するサイトの分析を行った。

- Yahoo!ボランティア  
Yahoo!ボランティアとは、Yahoo! JAPAN が社会貢献事業の一環として提供しているサービス[2]
- ボランティアプラットフォーム  
現地ニーズと支援ソースをマッチングするWEBサービス[1]

上記のサイトをボランティア初心者の視点で分析した結果、これらのサイトは本研究の対象である自分に何ができるかわからない初心者が簡単に検索できるシステムではないことが明らかになった。さらに、参加するきっかけを与えてくれる機能も存在しないことも明らかになった。

#### 現状分析のまとめ

- 初心者のボランティアに対するイメージと実際に募集されているボランティアの情報の間にはギャップがあるため、自分に合ったボランティアを検索することは難しい
- 初心者は他者からの紹介や勧誘など、ボランティアに参加するきっかけが必要

### 【4. システム提案】

本研究では、①初心者の持つイメージからボランティア活動を検索する機能と、②ボランティア活動をするきっかけを提供する機能をもつボランティア活動参加支援システムを提案する (図1)。

#### ・ボランティア活動検索機能

ここでは、森 (2010) が明らかにしたボランティア活動の動機と実際のボランティア活動の関連[6]を解釈し直したもの (表2参照) を利用し、初心者の持つイメージと求める条件 (日時、場所、必要な資格等) から合致するボランティアを提示する。

#### ・きっかけ提供機能

対象とするボランティア活動に興味はあるものの参加に至らない場合に利用する機能。ここで、「興味あり」を選択すると、運営団体と、既に参加を決めた人・同じく興味がある人のプロフィールを相互に閲覧可能になり、コミュニケーションを要請できる。双方が合意した場合、コミュニケーションが可能になり、ボランティア参加のきっかけを提供する。

Proposal of volunteer activity participation support system for beginners

†Sae Kodama, School of Business Administration, Senshu University

‡Tomofumi Uetake, School of Business Administration, Senshu University

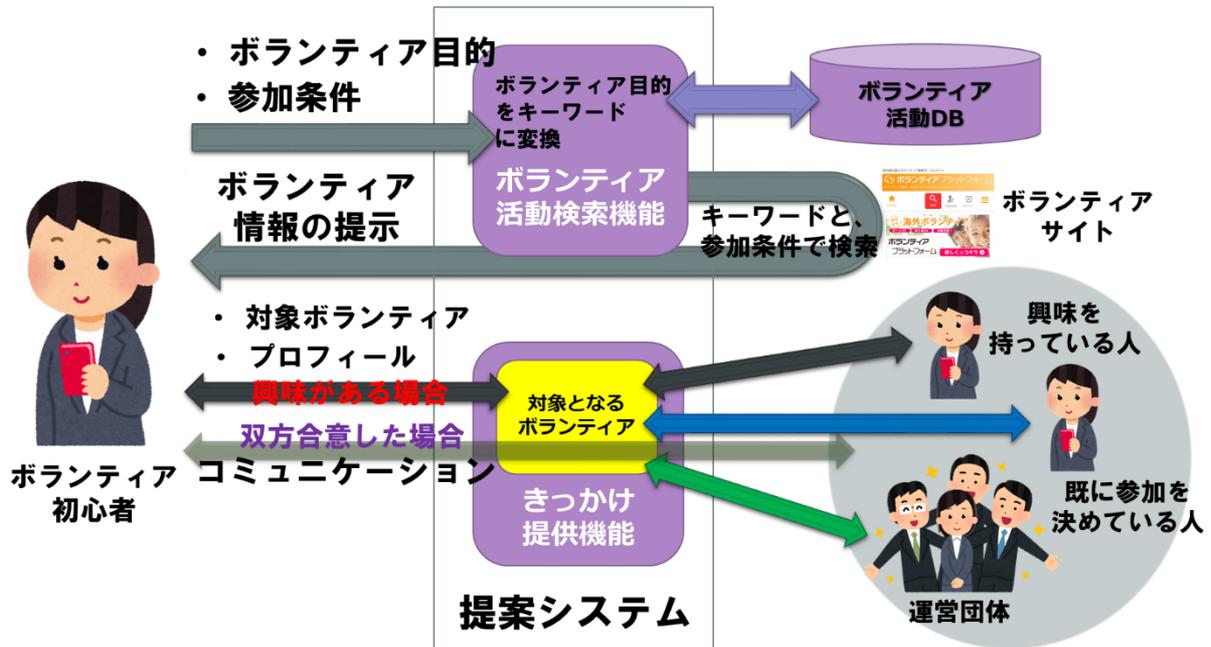


図1 提案システムの概要

表2 動機とボランティア活動の関係

動機	関係するボランティア活動
身体を動かせる	肉体的な活動 例) 街中のゴミ拾い、農作業の手伝い
人助けができる	苦境にある人を支援する活動 例) 老人の世話、障がい者支援、震災支援
自然と触合える	自然と直接関わる活動 例) 農作業の手伝い、生物の生息地保護、里山の保全
人々と触合える	コミュニケーションが目的の活動 例) 老人のお世話、子供の遊び支援、イベントの運営
仲間が広がる	コミュニケーションが必要な活動 例) 障がい者支援、地域の観光案内、海岸での油回収
社会の役に立つ	社会のための活動 例) 海岸での油回収、街中での植樹、山川海でのゴミ拾い

【5. 評価実験】

提案したシステムの有効性を図るため、実際にシステムを利用してもらい、評価実験（5段階評価）を行なった。

表3 提案システムの有効性（大学生12名を対象）

目的にあった検索結果が提示されたか	4.2
他人に誘われることで参加するきっかけとなったか	4.3
本システムを利用したいか	4.1

効果検証の結果、システムを利用することでボランティアに参加するハードルが下がることがわかった。ユーザーの求める条件を加え、複数のボランティアサイトを利用してDBを作る必要がある。

【6. 結論】

本研究で提案したシステムを利用することにより、初心者がボランティア活動に参加するハードルを下げ、人の役に立つ経験が容易にできるようになることが確認された。今後は、DBをより充実させ、検索結果の拡充を目指すとともに、きっかけ提供機能の改良をする予定である。

◆参考文献

- [1] ボランティアプラットフォーム: <https://b.volunteer-platform.org>
- [2] Yahoo! JAPAN ボランティア: <https://volunteer.yahoo.co.jp>
- [3] 社会福祉法人 南砺市社会福祉協議会, “地域別・ボランティア活動に関する意識調査”: [http://www.nanto-shakyo.jp/open\\_imgs/info/0000000147.pdf](http://www.nanto-shakyo.jp/open_imgs/info/0000000147.pdf)
- [4] 服部英二, “大学生の地域におけるボランティア活動を支援する視座”: <https://www.niye.go.jp/kanri/upload/editor/142/File/5-2-2.kousatsu.pdf>
- [5] 公益財団法人荒川区自治総合研究所, “ボランティア活動への参加を増やすために-荒川区の地域力向上に向けて-”: <http://rilac.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2017/03/地域力報告書.pdf>
- [6] 森保文 他, “参加したいボランティア活動の種類と動機の関係”: ノンプロフィット・レビュー 10(1), pp. 1-11, 日本NPO学会, 2010
- [7] 片山侑香里, “NPOのボランティア・マネジメント 求められる学生ボランティアとの関わり方とは”: [https://tanimoto-office.jp/seminar/W6\\_thesis/katayama.pdf](https://tanimoto-office.jp/seminar/W6_thesis/katayama.pdf)
- [8] 厚生労働省社会・援護局 地域福祉課” ボランティアについて”: [https://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/12/dl/s1203-5e\\_0001.pdf](https://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/12/dl/s1203-5e_0001.pdf)
- [9] 国立青少年教育振興機構, “大学生のボランティア活動等に関する調査”: <https://www.niye.go.jp/kanri/upload/editor/142/File/zentai.pdf>